

2月

# まちづくり通信

発行 飛騨高山まちづくり本舗  
住所 〒506-0845  
高山市上二之町 44-4  
電話&FAX 0577-33-5282  
hompotakayamashishouren.net

YY 掲示板 ネット討論など ドリーミンオフィシャルサイト ★<http://www.takayamashishouren.net/d/>

## 創造し 集い 新たなイメージで 住み続けられる故郷に

「まちひとぷら座かんかこかん」のオープンから一年後に発行と配信をはじめたまちづくり通信はただいま 24 号となりました。まちづくり通信はかんかこかんを拠点として、まちと人、こどもと大人、しくみと感性というような、まったく違う立場での響きあいが”まちづくり”という共通のテーマで繰りひろげられる現場を 2 年近くみてきました。協働の合言葉、りんくるりんの愛称で実施してきた冬の二十四日市と夏の納涼縁日の回数は 4 年で 7 回となり、その時々新たに吹いていた風をみなさんにお伝えしてきました。そのような中で、だんだん鮮明になってきた動きと場所に焦点をあててみました。

### 空き店舗が アート&パフォーマンススペース

まちなかのガラス張りの無機質な空間が創造力をかきたてます。市内在住の二人の若者が、商店街の協力のもと、**CUBEプロジェクト**として空き店舗活用の企画をスタートさせました。16 日までは市内在住アーティストの岩本さやかさんのオブジェ「つながり」が展示されています。これは本町商店街の一軒一軒から不用になった物をもらい、組み合わせて作り上げた商店街とのコラボレーション作品。

不用品にも各店舗らしさがあり、見る角度によって変化と発見のある楽しいものになっています。道行く人も見た目のおもしろさと、商店街と人の「つながり」と言うコンセプトに興味津々。まさに見えないつながりを具体化したアートとなりました。

★次回は、養老郡生まれ、福岡在住の画家 Renju(れんじゅ)さんの絵画展示です。高山がお気に入りの Renju さん、さまざまな島国を巡って培われた独特の感性を飛騨の空気はどのようにお迎えすることになるでしょう。お楽しみに!

CUBE プロジェクト Website は [http://www.geocities.jp/cube\\_act/](http://www.geocities.jp/cube_act/)  
お問合せ e-mail [cube\\_act\\_cube@ybb.ne.jp](mailto:cube_act_cube@ybb.ne.jp)  
または飛騨高山まちづくり本舗 33-5282 まで



### レストランで 音楽や映画を楽しむ

活動弁士つき無声映画の上映でお馴染みになったかじ橋こみちのレストラン、コ・シャラシャントさんが更なる可能性を紡ぐスペースになっています。書や写真作品展示、歌や音楽で憩える場、そして毎週火曜の夜には有志による映画会「シネマチャンネル」がひらかれています。

そのメンバーでもある飛騨の若者 4 人が宮川沿いを舞台に自主制作した映画ヒューマンストーリー『クリスマス・イル』が映画好きな大人の間で評判です。いつもの風景が映画の中に写るとまた違ってみえてきます。若者の感性から投影されるまちの印象に新鮮な息吹を感じます。

東京で映画を勉強中の人、これから情報メディアを再勉強しようと旅立つ人の姿もあります。学びがまちづくりに還元される日を、故郷はゆっくり待っていますよ。

### 山里の棚田では 酒米づくりを控え新年の神事

1 月の滝町棚田で、青年会議所(JC)メンバーが参加して雫宮祭に供える清酒用の酒米の実りを願って神事が行われました。春からは交流館「凸凹館」を拠点にこどもたちも交えた家族ぐるみでの米作りがにぎやかにはじまることでしょう。



←苗に見たてた杉の葉を雪面に立て 田の神様にお神酒がそそがれました。

棚田の風揚げ大会では、JC 棚田研究会の二十連凧白龍が風をうけ棚田の丘に舞い上がりました。この標高 975m の水と風と太陽が米を育てます。→



↑「えいさ、よいさ」とかけ声勇ましい「雫宮祭」。まちづくりの求心力となることに期待がかかります。



今回は、こども連れでもでかけていける二十四日市という視点で二十四日市をながめてみました。無料おやすみ処には200名ほどの方においでいただきました。いつもかんかこかんを利用されている親子も立ち寄られ、また元気に雑踏の中へ。ガラスに写真撮影できるスポットがさりげなく演出されました。

「目の正月～」と人寄せをする江名子ばんどり保存会さんから小さなバンドリをお借りし、こどもたちがつけてもらっていました。本来飾り物でこどもにも小さいサイズでしたが、小さなバンドリボーイやガールの姿はほほえましいものでした。

「絵本のある子育て」を大切にするまちに

「子どもの本で考える」講演会「本との出会いは人との出会い」  
三輪 哲さん(名古屋・メルヘンハウス)  
日本初の子どもの本専門店(1973年～)のご主人による絵本の話

- ・3月9日(木)13時20分～15時 要申込
- ・高山市図書館「煥章館」参加無料・託児は事前申込み
- ※岐阜県読書推進運動協議会、県・市図書館主催、H17年度読書活動研修会として開催

好評第2弾!!たのしい会議の達人になろう!

コミュニケーター養成講座 四回(開催3・5・7・9月)  
講師:延藤安弘さん(NPO 法人まちの縁側育み隊代表)  
三矢勝司さん(岡崎市民活動支援協議会事務局)  
『聴く力と要約力を高める』

3月28日(火)午後7時半～9時半  
かんかこかん2階和室 各回300円  
申込みは3月17日までにまちづくり本舗 0577-33-5282(Fax 兼)

教えて協子さん その⑨  
協働のまちづくりに  
かせないことは?

〇〇課の△△さんでない  
お付き合い

まちづくり本舗編集ハンドブック『地域暮らし読本、協働のまちづくりのしくみづくり』より

行政はいつも「市民、民間、行政協働によるまちづくり」の重要性を訴えます。だれと具体的に何をどのように協働するのかについてはよく見えないというのが現実です。  
(だれを相手にはなしているのかわからないのが不安なIさん)

〇協働のまちづくり行政との付き合い方

協働のまちづくりのしくみづくりとなると行政もなかなか見出せないのが現実なのではないかと思えます。なかには、大阪の豊中市や長野の茅野市など独自のしくみを構築している自治体もあるようです。市民活動団体にしても、どの部分を協働するのかというそれぞれの団体によって事情は変わってくると思われまます。企画面での協働、財政面の協働、情報面の協働、体制面の協働、施設面の協働と様々です。多くは望めませんが、全ての部分において行政に対しては協働の姿勢を望むものです。そして、何より市民と行政が「〇〇課の△△さん」と組織ではなく、生身の人間同士としての対等の関係で協働のまちづくりに取り組むことができる雰囲気をつくりたいものです。

足元に刃のついた棒を持って歩く男性に、それは何ですかと伺ったところ、材木を切り出したあとに引っ張るトビというもので、鍛冶屋に修理にだしていたのができてきたとのことでした。

また、ショウケを編むおじさんの手元に見入っていたNさん(写真下)は、竹取りから同行しショウケの作り方を教えてもらっているところでした。おじさんの「こわれたら修理してやるで持つといで」のことばに、手づくりの道具が日常に使われる暮らしと、それを大事に修理して使い続ける飛騨の人たちの暮らしぶりが見えました。

昭和30年代にビニールの合羽が売り出され次第に実用されなくなったというバンドリ。今では実用というより「目の正月」としての貫禄たっぷりです。年一回こうした手技を支えるおじさんたちの心意気に会えるのは二十四日市の魅力ですし、お母さん、こども、若者たちにもっと体感してほしいものです。



寺子屋かんかこかん「パソコン塾」

すぐに実践でき、必ず役に立つ「ワードで作るPOP、チラシ作成」  
明日からチラシはまかせて!といえる3時間です

日時: 2月25日(土)午後1時30分～4時30分  
場所: まちひとぶら座かんかこかん (安川通り商店街)  
定員: 10名(先着順) 参加費: 1,000円(資料代)  
※原則として各自ノートパソコン持参 ※有料託児もあります  
申込み: まちづくり本舗 0577-33-5282(Fax 兼)

講演会: 2月26日(日)1時半～ 高山市役所 201・202号室  
・35-5676 自然治癒力を高める療法による癒しへの道(300円)

茶事: 2月26日(日)夜7時～春光の茶事 古川町壺之町珈琲店  
・73-7099 茗荷舎さんの料理、ギター演奏、お菓子など(チケット完売)

集い: 3月12日(日)1時半～ 高山市役所 201号室  
・35-5676 今日から明日の私のために(遺されたものたちの集い)(無料)

YOU&ME (ゆめ)  
サロンばれっと  
インフォメーション

★男女共同参画社会をテーマに市民と行政の協働で運営する「ばれっと」からのお知らせ  
提供:ばれっと倶楽部  
問合せ:0577-35-3134  
市役所企画課  
会場:女性青少年会館  
0577-32-0394

たかやま市民カレッジ YOU&ME 講演会  
『家庭・地域・職場で築こう男女共同参画』  
内閣府男女共同参画会議議員の鹿嶋敬(かしまたかし)さんによる講演会

3月3日(金)夜7時～8時半  
ひだホテルプラザ喜多館3階  
主催は高山市・高山市教育委員会

※関市わかさ・プラザにて、ぎふ共生大学公開講座 2月25日(土)午後1時「新たな子育ての時代を迎えて」～母親一人の「弧育て」から皆で支える「子育て」へのチラシあります

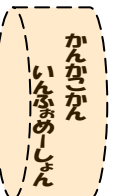
1F●無農薬栽培の豆類、穀類、粉類の販売中!  
お菓子づくりなどにいかがですか。

2F●かんかこギャラリー 家始朝子さん作品予定3月1日～

講座●子どもの思い出を絵本に

日時: 1回目 2月16日(木) 10時～12時  
2回目 2月23日(木) 10時～12時  
3回目 3月2日(木) 10時～12時

会場: かんかこかん2階和室  
講師: 新井豊美さん(手づくり絵本の会・紙ひこうき)  
参加費: 500円 定員: 10人(3回参加できる方)  
持ち物: 台紙となる紙、カッター、カッターボード  
託児: 子ども1人 500円  
申込み: こどもひろば 33-5055 (FAX 兼)



まちひとぶら座  
かんかこかん  
開館時間  
10時～5時